

平成26年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

平成26年2月13日

上場会社名 特殊電極株式会社

上場取引所 東

コード番号 3437

URL http://www.tokuden.co.ip (役職名)代表取締役社長

代表者 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名) 高田 芳治 (氏名) 高島 良成

TEL 06-6401-9421

四半期報告書提出予定日

平成26年2月14日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	高	営業利	J益	経常和	J益	四半期紅	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,687	△0.2	152	43.4	165	31.6	45	29.0
25年3月期第3四半期	5,701	2.6	106	△15.1	125	△19.7	35	△41.7

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 107百万円 (91.2%) 25年3月期第3四半期 56百万円 (9.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.65	_
25年3月期第3四半期	4.38	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	6,631	3,493	52.1	431.72
25年3月期	6,518	3,404	52.2	425.15

(参考)自己資本

26年3月期第3四半期 3.457百万円

25年3月期 3.404百万円

2 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
25年3月期	_	3.50	_	3.50	7.00	
26年3月期	_	3.50	_			
26年3月期(予想)				3.50	7.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日~平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業和	山益	経常和	当益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	7,873	5.2	162	30.1	174	16.2	69	77.6	8.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) TOKUDEN TOPAL CO., LTD. 、除外 —社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無②①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	8,010,000 株	25年3月期	8,010,000 株
26年3月期3Q	2,094 株	25年3月期	2,094 株
26年3月期3Q	8,007,906 株	25年3月期3Q	8,007,907 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四 半期連結財務諸表のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果による株価上昇や円安ドル高状況によって 緩やかな回復傾向となりました。また、東京オリンピック招致決定を受けて、インフラ整備による公共工事の増加 やオリンピック関連産業の需要拡大が期待される状況となりましたが、新興国における経済の停滞問題や原油価格 の高騰、さらに平成26年4月からの消費税増税に対する懸念により、国内経済は依然先行き不透明な状況で推移い たしました。

このような状況の中にあって当社グループは、引き続き営業部門におきましては、直販体制を活かした販売強化推進と技術部門との連携による顧客開拓を展開して、業績の向上に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、作業効率の向上とコスト削減に努めてまいりました。 また、研究開発などの技術部門におきましては、新技術の開発をより推し進め、研究成果の実用化に努めてまい りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,687百万円(前年同四半期比0.2%減)となりました。また、 損益面におきましては、営業利益は152百万円(前年同四半期比43.4%増)、経常利益は165百万円(前年同四半期比 31.6%増)、四半期純利益は45百万円(前年同四半期比29.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と徹底した品質管理、コスト削減により受注拡大に努めました結果、粉砕ミル工事、プラズマ粉体肉盛工事、アルミダイカスト関連工事の受注は減少しましたが、鉄鋼関連の保全工事、トッププレート工事の受注が増加し、売上高は4,036百万円(前年同四半期比0.6%増)、セグメント利益は349百万円(前年同四半期比14.8%増)となりました。

② 溶接材料

直販体制による販売の強化及び新規案件の受注拡大、コスト削減に努めました結果、製品においては当社の主力でありますフラックス入りワイヤの売上高は446百万円(前年同四半期比6.0%増)、また、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は679百万円(前年同四半期比1.3%増)となり、溶接材料の合計売上高は1,126百万円(前年同四半期比3.1%増)、セグメント利益は205百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。

③ その他

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品、環境関連装置の受注が減少した結果、売上高は525百万円 (前年同四半期比12.1%減)、セグメント利益は44百万円(前年同四半期比10.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ113百万円増加し、6,631百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、4,883百万円となりました。これは主に、受取手形及び 売掛金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、1,747百万円となりました。これは主に、無形固定資産が増加したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、3,138百万円となりました。これは主に、支払 手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

(純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ88百万円増加し、3,493百万円となりました。これは主に、為替換算調整によるその他の包括利益累計額が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初の計画通りに推移するものと考えており、現時点におきましては、平成25年 5月20日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関しては修正の必要性が生じた場合には速やかに 開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当連結会計期間において、タイに TOKUDEN TOPAL CO., LTD. (特定子会社)を新たに設立したため、当連結累計期間より連結の範囲に含めております。

1半期連結会計期間 225年12月31日)
1, 312, 03
2, 433, 41
580, 78
290, 50
90, 36
176, 75
△1
4, 883, 84
1, 394, 00
80, 82
273, 14
1, 747, 97
6, 631, 81
1, 580, 58
340, 00
40, 46
54, 55
14, 45
218, 03
2, 248, 08
434, 60
455, 89
890, 49
3, 138, 58
484, 81
394, 81
2, 441, 47
△37
3, 320, 72
6, 39
130, 04
136, 43
36, 06
3, 493, 23
6, 631, 81

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第3四半期連結累計期間)

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	5, 701, 593	5, 687, 486
売上原価	4, 309, 182	4, 208, 462
売上総利益	1, 392, 411	1, 479, 023
販売費及び一般管理費	1, 285, 958	1, 326, 354
営業利益	106, 453	152, 669
営業外収益		
受取利息	1, 085	1, 197
受取配当金	1, 365	1, 620
雇用安定助成金	11, 808	5, 989
その他	9, 087	9, 902
営業外収益合計	23, 346	18, 709
営業外費用		
支払利息	2, 826	1, 867
為替差損	_	3, 570
その他	1,462	738
営業外費用合計	4, 288	6, 177
経常利益	125, 511	165, 201
特別利益		
固定資産売却益		
特別利益合計		
特別損失		
固定資産売却損	1	_
固定資産除却損	3, 074	698
減損損失		16, 279
特別損失合計	3, 076	16, 977
税金等調整前四半期純利益	122, 645	148, 223
法人税、住民税及び事業税	64, 626	88, 121
法人税等調整額	22, 962	15, 524
法人税等合計	87, 588	103, 645
少数株主損益調整前四半期純利益	35, 056	44, 577
少数株主損失(△)		△650
四半期純利益	35, 056	45, 228

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 当 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	4第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35, 056	44, 577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△760	7, 995
為替換算調整勘定	22, 056	55, 199
その他の包括利益合計	21, 296	63, 195
四半期包括利益	56, 353	107, 773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56, 353	108, 653
少数株主に係る四半期包括利益	<u> </u>	△879

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。